



税金はみんなの元氣玉

大田区立志茂田中学校 三年 佐藤 心春

「お金ってすべ無くなるからやだな」と思ったことはあるだろうか。私はある。値札よりも払うお金が少し多くなっても気に留めなかった。私もそうだった、以前までは。

私には北海道に住んでいる祖母がいる。祖母は一人で暮らしており、私が北海道に帰るとよくかわいがってくれる。そんな祖母は昔から心臓が悪く、二ヶ月後には札幌の病院で大きな手術を控えていた。ある日、母に電話がかかってきた。話を聞く母の顔がみるみる青ざめる。母は祖母が心臓発作で倒れ、緊急手術を今から行つたということを教えてくれた。そして、今から札幌の病院へ向かうという。祖母が倒れた、さらに緊急手術。私は心配のあまり寝られず祖母のしている手術について調べた。心臓の血管がつまりやすくなっているところを切除し管を入れる手術をしているらしい。手術費はとても高額になるが、一人暮らしの祖母が簡単にお金を用意できるだろうか。

手術は無事成功したが手術費を祖母が払えるかという不安は日に日に増していた。祖母はもう仕事を辞めているからだ。気になった私は祖母に手術費について聞いてみた。すると、手術費は保険に入っていたため

二割ほどしか払っていないことが分かった。私は保険について興味が湧き調べてみた。私たちが払う税金のうち三割も社会保障関係費に使われている。また私、の住む区では子育てや高齢者の支援することに福祉関係費の半分近くが使われている。税金ってすごい。私が生まれるときも年をとったときも支えてくれるんだ。いつも払う消費税の半分以上が人助けのために使われている。私の払ってきた税金で、祖母を助けられたように思えてとても誇らしい気持ちになった。

私は漫画やアニメが好きだ。母の影響で小さいころからドラゴンボールを見ている。この作品の中で「元氣玉」という主人公の技がある。主人公の悟空が両手を天に掲げ、周りの生き物から少しだけ元氣をもらい、それを集め強力な光球をつくるという技だ。税について調べている中でこの技が頭に浮かんできた。この技は税金のしくみと似ていると思った。みんなが払ったお金を少しずつ貯めて、とても大きな力に変える。悟空のような強い人でも一人でできないことがある。どんな小さな力でも集まることで大きくなり、敵を倒し、またみんなが平和に楽しく暮らせるようになる。小さな積み重ねが自分も自分の大切な人も守れるようになる。というところが、元氣玉と税金の共通点なのではないか。

祖母の手術をするときまではお金は無くなるという感覚でいた。しかし、税について考えていく上で無くなるというよりお金で守るという考えに変わった。税によってお金よりも大切な人や命を守るようになる、なんだかヒーローになった気持ちだ。将来はもっと多くの人を救えるような悟空のようなヒーローになり、社会の元氣玉をつくりたい。